

「出題の意図」

<p>選抜区分</p>	<p>2020年度 (選抜区分：AO 入試) 外国語学部 国際関係学科 (科目名：1次選考小論文、2次選考集団討論・面接)</p>
<p>出題の意図 (評価のポイント)</p>	<p>1次選考(小論文)</p> <p>国際経済秩序の根幹を成す自由貿易の意義をめぐり、国際社会が揺れている近年の動向をどのように捉え、理解しているかを問う問題である。高等学校で学習する「現代社会」、「政治・経済」で必ず扱うトピックであり、世界貿易機関(WTO)、関税障壁の撤去といった教科書に見られる事項のほか、近年、ニュースで話題になっている貿易戦争とも関連した内容である。</p> <p>教科書や現在の出来事についての知識とともに、自己の見解を日本語で適切に表現できているかを、語彙力、論理的な思考力、発想の豊かさ、文章表現能力などで評価するものであった。</p> <p>評価にあたっては、下記のような点を特に注目した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題文の内容を正確に理解しているか。 ・問題のテーマに関連した基礎的な知識をもっているか。 ・解答の記述にあたって、正しい論理の運びができているか。 ・解答の趣旨が明快であるか。 ・適切な文章表現ができているか。 ・誤字、脱字はないか。日本語としての構文、語法の観点から、文章に乱れはないか。 <p>加えて、次の点を評価で重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由貿易の推進が引き起こした問題と、保護主義を求める声について考察する視点が定まっているか、また、自分の立場を述べる時、具体性を持って展開されているか。 <p>2次選考(集団討論・面接)</p> <p>集団討論では小論文で課した自由貿易の推進や意義についてグループで自由に討論し、その結果を簡潔にプレゼンテーションすることを課題として設定した。そこで評価の対象としたのは、少人数のグループで適切にディスカッションする能力と、参加した者が助け合いながら議論をまとめあげ、その内容をプレゼンテーションする力である。</p> <p>面接では集団討論についての振り返りと、本学科での学習への意欲及びそのための事前準備の状況、高校での活動内容を見ることとした。</p> <p>集団討論・面接ともに、この課題についての知識とともに、自己の見解を日本語で適切に表現できるかを、語彙力、論理的な思考力、発想の豊かさ</p>

さなどで評価した。

集団討論では、下記のような点を特に注目した。

- ・ 自己の見解をわかりやすく他の受験生に伝えることができたか。
- ・ 適切な態度で、他の受験生に接することができたか。
- ・ 他の受験生の発言を正確に理解して、適切に応答できていたか。
- ・ グループのなかで提出された多様な意見を自分なりに整理して、欠けている視点や、問題の解決につながる可能性のある新しい論点を提示できたか。
- ・ 課題に対する知識を豊富に持っているか。
- ・ グループ・ディスカッション全体のタスクを正しく理解したか。
- ・ プレゼンテーションをどのようにおこなうか、参加者相互で話しあうことができたか。
- ・ 口頭での表現が適切であったか。

面接では、次の点に注目した。

- ・ 適切な態度で、面接官に接することができたか。
- ・ 集団討論での自己やグループ全体の対応について、振り返ることができたか。
- ・ 本学科への志望動機や、今後のキャリア形成について説得力を持って伝えられたか。